

Thanks
50th
2020
Anniversary

見えない壁を越えてつながる

第3章 岩手県予防医学協会 現況

公益財団法人 岩手県予防医学協会

創立時から受け継ぐ色褪せない理念。

世代を超え

部署の壁も越えて、

その心をつなぎながら

実現に向けて歩みを進める。



会長
小原 紀彰



専務理事
呼吸器内科部長
武内 健一



常務理事
岩城 勝典



理事・事務局長
米澤 慎悦



総務部長
鈴木 和彦



事業推進部長
武蔵 覚



情報管理部長
山口 ゆかり



健康推進部長
関向 和明



医療技術部長
腰山 誠



医療技術部長
藤原 幸治



県南センター事務長
高島 研二



医局長・循環器科部長
田巻 健治



健診部長
遠藤 憲幸



外科部長
阿部 正



小児科・内科部長
千田 勝一



産業保健支援部長
立身 政信



婦人科総括部長
松田 壯正



巡回健診部長
近藤 宗廉



消化器内科総括部長
黒澤 照男



婦人科健診部長
鈴木 浩基



消化器内科部長
伊藤 聡



産業保健部長
茂木 隆



県南センター長・診療所長
佐藤 日出夫



医師
堀江 寛



医師
谷藤 一生



医師
菅原 智



医師
土川 伍朗



医師
柏葉 光利



医師
小川 将



総務部 経理課

岩手県予防医学協会 現況

数字と闘う縁の下の力持ち
予防医学協会で働きたい！憧れの職場へ



折原 由惟 Orihara Yui

総務部 経理課 会計係
平成19年度入職

経理課の会計係は請求事務や出納事務など協会の「お金」に関わる業務を行っています。健診で受付された件数を分野別に計上しながら請求書を作成し、入金管理をしています。また、月ごとに請求額集計・未収金計上・入金元帳を作成し、協会の経営状態の確認から日々の現金管理まで数字と闘う毎日です。
細心の注意を払って仕事をしているので、月ごとの計上や未収金額が合致した時にとってもやりがいを感じます。努力したこ

とが数字に反映されている実感を持っているからです。目立った仕事ではありませんが縁の下の力持ちだと自負して1円の間違ひもないよう心掛けています。健康診断は職員一人一人の努力があつてこそ成り立っています。
今後も問題点や改善点を考え判断できるように他分野への知識の幅を広げていきたいです。将来は若い人たちが「予防医学協会で働きたい！」と憧れる職場になってほしいと思います。



齋藤 江太 Saito Kota

総務部 総務課 総務係
平成26年度入職

協会が組織として運営していくための事務的業務、施設として維持していくための管理業務が主な仕事です。
具体的には、役員会、部課長会議の準備、中央会、全衛連、結核予防会等の支部としての活動の取りまとめ業務。また、施設の修繕・改修、水道光熱費の管理、防災に関わることなどです。他にも駐車場の誘導、電話対応、車両事故対応など多様な業務があり、学べることが多いです。施設の改修要望などを受けて実際にそ

れが実現して喜んでもらえた時や、会議の運営等、チームワークで仕事を無事に終えられた時はやりがいや達成感があります。
今後は、公益法人の運営や業務に係る法令について知識を高め、自分にできることを増やし、周りの方々の役に立てるようになりたいです。
協会で働く職員が共通の目的に向かって一つのチームとなり、自分に何ができるのかを考えながら働く職場環境づくりを大切にしたいと考えています。

協会をワンチームに
バランスと調整で組織を創る・強くする



総務部 総務課

岩手県予防医学協会 現況



事業所の要望に応える健診で
岩手の産業を支える人たちを健康に



齊藤 亮 Saito Ryo

事業推進部 産業健診課 産業健診企画係
平成21年度入職

事業所を顧客とする産業健診分野で仕事をしています。事業所健診担当者との窓口となつて、事業所ごとに稼働日に合わせて健診日を調整、事業所指定の健診内容を確認しながら推奨する健診項目や事業所の要望に合わせた提案をしています。県内各地の工業団地などの企業の健診では社員千人以上の工場もあり、生産ラインや夜勤など社員さんの勤務時間に合わせて健診日程を組むのが大変ですが、打ち合わせ通りに健診がうまくいってお客様

さんに喜んでもらった時、やりがいを感じます。
今後も事業所側が協会に何を求めているのかをくみ取り、できる限り応えていきたい。健診が元気に仕事をするための健康管理のツールの1つとして役立つことを働く人たちに伝えたい。協会は「ここで健診を受けた」「ここで受診すれば大丈夫」という役割が求められると思います。「健康」といえば予防協会と言われるように、もっと県民に身近な存在を目指します。



佐々木 秋澄 Sasaki Akisumi

事業推進部 地域学校健診課 地域学校健診企画係
平成23年度入職

県内市町村の住民を対象とした生活習慣病予防のための特定健康診査、後期高齢者健康診査、がん検診事業、各種検査・健診事業にかかる企画業務や各施設（介護・支援・高齢者）利用者の健康診断の企画業務をしています。市町村・団体との打ち合わせや実施に向けて協会内部の調整役です。
今年は新型コロナウイルスの影響もあり、感染症対策を行うなど例年と違う段取りに苦慮しています。健診事業が無事

に始まり、終了した時や受診者数が前年度より増加した時にやりがいを感じ、健診が早期発見、早期治療へつながるのが喜びです。
これからの健診は、SNSなどを利用した幅広い方々への情報発信や、健康講座、がんや検査内容の説明を配信するなどニーズに沿った対応が求められると思います。健康診断といえば「予防医学協会」と信頼と実績を積み上げ、地域社会に必要とされる組織を目指します。

健康診断といえば「予防医学協会」
地域社会に必要とされる組織に



事業推進部 地域学校健診課

岩手県予防医学協会 現況

事業推進部 産業健診課

岩手県予防医学協会 現況





事業推進部 施設健診課

岩手県予防医学協会 現況

「協会で健診を受けて良かった」の声がやりがい
精密検査外来で病気の早期発見へ



赤澤 赴 Akazawa Takeshi

事業推進部 施設健診課 施設健診係
平成18年度入職

お客様からの健診申込・変更対応、健診内容のシステムへの登録、各種健診依頼団体との渉外・契約締結などの企画業務と、健診当日のお客様対応などのフロア業務を担当しています。がんを早期発見できた、予防医学協会で健診を受診して良かったなどのお客様からの声や、健診に関するお客様へのプラス提案が成立した際にやりがいを感じます。

「健康診断で所見があり、不安を抱えての精密検査受診となりますので、その不安を少しでも和らげることができるよう「和」のつくことになっていきます。精密検査受診率100%を達成できるようとアピールしていきます。

今後は、お客様要望への柔軟な対応や、能動的な新規受診のお客様獲得ができるように後輩職員の見学や考えを聞きながら、常に今よりも前進できるように成長していきたいと考えます。

「分かりやすさ」を求め、発信力向上を目指す
多様化するニーズに応える組織に



原田 翔 Harada Sho

事業推進部 事業管理課 広報係
平成23年度入職

広報紙「健康いわて」の取材・撮影・執筆・原稿依頼・編集作業と、各部署より依頼されたチラシ、ポスター、広報物の作成を中心にしています。ホームページの管理や、各種イベントの運営、健康フェスタの事務局、頒布品やパンフレットなどの作成と管理、広告の管理など協会の宣伝広報活動もしています。結核予防会の複十字シール運動の担当もしています。社内を横断的に動き回りながら、情報発信や、そのお手伝いをしています。

業務では「分かりやすさ」を心掛けています。対象や目的、時代によって変化する感覚や言葉に合わせられるよう、知見を広げ、試行錯誤を繰り返しながら、発信力の向上を目指しています。

これからの協会は多様化するニーズや、法令改正などの社会の変化に対応しながら、任せれば安心、確実、やりとりも簡単で分かりやすいと言っていただけのような組織であればと思います。



事業推進部 事業管理課

岩手県予防医学協会 現況



健康推進部 健康推進課

岩手県予防医学協会 現況

予防医学ナースのプロフェッショナルを目指して
常にお客様の期待を超えて笑顔を作り出す存在に



袖林 佑希奈 Sodebayashi Yukina

【保健師】
健康推進部 健康推進課 看護係
平成20年度入職

健康診断や人間ドックでの、血圧測定、採血、問診、内科診察介助、婦人科診察介助などの看護業務を担当しています。また、人間ドックでの健康相談など保健師業務に携わることもあり、病気の早期発見のみならず、広く健康づくり支援を行っています。不安を抱えて受診された方がスムーズに検査を終えて笑顔で帰られる時や、「毎年ドックを受けるのが楽しみ」とお客様に言っていたいた時、やりがいを感じます。

健診機関で働く看護師は、短い時間の中でたくさんのお客様と接します。一人一人のお客様のニーズを素早く察知し、安心安全に検査を進め、満足していただくことが重要です。そのためには、常に高い知識と技術の習得に努めていくことももちろん、お客様の気持ちに寄り添ったサービスを提供するため、コミュニケーションスキルの向上も必要です。予防医学ナースのプロフェッショナルを目指し、常に学ぶ姿勢で楽しく働き、成長していきたいです。

健診結果に想いを乗せて
データの向こうに人の姿を思い浮かべながら



佐藤 理江 Sato Rie

情報管理部 情報管理課 統計・情報処理係
平成22年度入職

情報管理課は「最後の砦」と言われます。涉外、健診現場、検査部門からバトンを受け取り、協会のメイン商品「健診結果」を作成してお客様にお届けする最終部署にあるからです。最大級の個人情報扱うため、慎重で正確な作業が求められると同時に、迅速な処理が必要となります。少しのミスでも協会の信用に関わるためプレッシャーを感じる部分もありますが、お客様や他部署からの要望に応えることができた時にはやりがいを感じます。

日頃は膨大なデータと向き合い、お客様と顔を合わせる機会の少ない部署です。だからこそ、データの向こうの相手を意識するよう心がけています。お客様のことはもちろん、健康に寄り添う協会職員の間も乗せて結果を作成しています。協会はこれからも健康の保持増進に役立つ商品の提供方法を模索し続けることが求められると思います。そのためにも、常に広い視野を持ち、健診業務全般に精通した知識を身に付けていきたいです。



情報管理部 情報管理課

岩手県予防医学協会 現況





医療技術部

臨床検査課

岩手県予防医学協会 現況



細胞診検査でがんの早期発見につなげ
健康寿命の延伸に貢献したい



吉田 桂子 Yoshida Keiko

【臨床検査技師】
医療技術部 臨床検査課 血液・細胞診検査係
平成22年度入職

臨床検査技師として主に細胞診検査を担当しています。子宮頸がん検診、肺がん検診で採取された細胞をスライドガラスに塗抹、染色し、顕微鏡で異常な細胞がないかすべてチェックしています。正常な細胞と比べ、細胞の形や色の濃さに変異があるものをがん疑いとしてふるいにかける検査です。明らかに異常で要精密検査とする場合はもちろん、異常なしで陰性にする場合にも見落としがないか、より慎重な判断が求められます。

がんの早期発見につながった時はやりがいを感じます。がんでつらい経験をされる方を一人でも少なくするよう日々精度向上を目指します。これからは病気を見つけるのではなく、病気にならないためにサポートしていくサービスが求められています。それには蓄積された検診データの分析や情報提供が必要だと思っています。少人数で専門的な仕事ですが、ぜひ新人さんを迎え、ともに県民の健康寿命の延伸に貢献していきたいです。



佐々木 歩美 Sasaki Ayumi

【臨床検査技師】
医療技術部 生理機能検査課 心臓検査係
平成21年度入職

生理機能検査課で行われている検査の中で主に心電図検査、超音波検査を担当しており、巡回健診や人間ドック、精密検査外来で検査を行っています。また、検査後の結果処理も行っています。実際に受診者と接することができる検査なので、わかりやすい説明を心掛け検査に対する不安を取り除くよう配慮しています。健診後に「検査を受けて良かった」などのお言葉をいただいた時、やりがいを感じます。少しでも検査に興味を持って

いただけると大変うれしく思います。検査の知識や技術の向上を常に意識し、確かな検査の提供を目指します。大切にしているのは、目の前の受診者様を第一に考えた思いやりのある対応です。個々のニーズにあった健診内容や確かな技術の提供、わかりやすい健診結果、情報提供が求められていると思います。技術習得に時間がかかる業務なので、新人教育にも積極的に取り組み後輩を育てていきたいです。

受診者第一 思いやりのある健診を
新人教育に取り組み後輩を育てたい



医療技術部

生理機能検査課

岩手県予防医学協会 現況



医療技術部 環境保健課



安全靴にヘルメット姿の作業環境測定士
作業環境の改善で労働者の健康を守る



小笠原 雄太 Ogasawara Yuta

【第一種作業環境測定士】
医療技術部 環境保健課 環境調査係
平成17年度入職

作業環境測定、室内空気中化学物質濃度測定に関する企画、測定、検体分析、結果処理を主にしています。

健康では健診結果から受診者が予防や検査、治療をして健康の維持を自発的に努めますが、作業環境測定は測定結果を基に工学的な改善等を事業場に提案し、作業場に存在する有害な因子を取り除くあるいは低減することで、労働者に負担を強いことなく健康を守ることができます。作業環境測定機関の測定士は事業場

作業者、行政の相互関係の中で中央の立場にいると考えており、事業場における労働衛生管理の一端を担う立場、さらには作業環境管理のプロフェッショナルとして、作業環境測定を通じて作業環境改善の提案や法解釈のアドバイスをしています。日々の測定業務で事業所担当者、作業者とコミュニケーションを取りながら、現状をよく理解し新しい情報を得ることを心掛けると同時に、法改正の把握や新しい技術取得のための自己研鑽をしています。



細川 悠子 Hosokawa Yuko

【診療放射線技師】
医療技術部 放射線課 乳房検査係
平成25年度入職

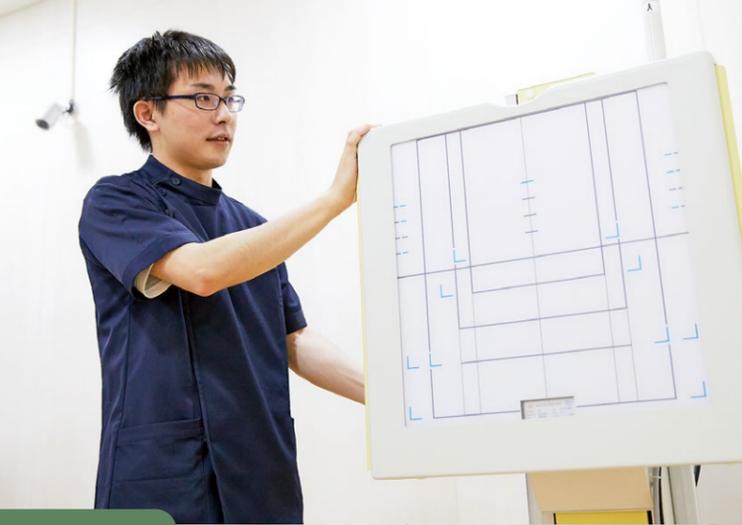
乳房X線、胸部X線、胸部CT、脳MRIの検査を担当しています。受診者の不安を取り除き、安心感を与えられるような、優しさを込めた対応を心掛けています。以前受診された方から「検診により病気を早期に見えた、おかげで元気がある」といううれしいお言葉をいただいた時にやりがいを感じます。

より精度の高い検査ができるよう、日々勉強を怠らず、探究心を持って物事に取り組んでいます。「予防」をもっと身近に、

何事も健康があつてこそという意識付けや、その後の継続した検診受診など日頃から健康づくりを考えるきっかけづくりのお手伝いをしていきたいです。

今後は、様々な方に対応した検診の実施や、災害など有事のときの「予防や健康」に関わることの積極的な活動や情報の発信が求められると思います。時代や状況に則した柔軟な対応で常にその一歩先を行くような、お客様・働く人すべての人に優しい企業になればと思います。

受診者の不安を取り除き安心感を与えたい
柔軟な対応で常にその一歩先を行く協会に



医療技術部 放射線課





幼老統合事業部

岩手県予防医学協会 現況

お年寄りとの交流は園児にプラス
子どもに関するどんなことにも対応できる保育士に



鎌田 亜耶子 Kamata Ayako

幼老統合事業部 保育係
平成28年度入職

子どもたちの食事やトイレ、着替えなど身の回りのサポート、遊びや運動を通して社会性や協調性を養えるような保育をしています。園児の健康や精神状態のチェック、園内を清潔に保つための徹底的な掃除および消毒、保護者への育児などに関する相談やアドバイス、作物の栽培および飼育物の世話、幼老統合施設全体に係わる業務など多岐にわたっています。子どもたちの笑顔や楽しく過ごしている姿を見た時や成長を間近で感じられた

時、保護者の方と成長の喜びを共感できることにやりがいを感じます。子どもに関するどんなことにも対応できる保育士になりたい。そのためにも向上する気持ちを忘れず外部研修や日々の勉強に取り組んでいきたいと思っています。今後は、地域交流を積極的に進めていきたいと思っています。またCOOBEの卒園児が心優しく、元気で、心身共にたくましい子どもに育って欲しいと思っています。

遊びを通して運動の楽しさを伝える
子どもから高齢者まで活力ある生活のモデル施設に



山谷 紘大 Yamaya Kodai

幼老統合事業部 児童係
平成29年度入職

幼老統合施設COOBE児童クラブの運営業務や、放課後の児童と一緒に遊んだり、勉強を教えたりしています。また、COOBE保育園の園児に「運動あそび」として運動を教えています。遊びを通して運動の楽しさを伝え、運動好きの子どもが増えるよう取り組んでいます。児童や園児に「運動が楽しい」「運動が好きになった」と言ってもらえることが一番やりがいを感じる時です。日頃から子どもたちに運動の楽しさを伝えることや、運動を通

じて達成感や自己肯定感を高められるよう意識して努めています。協会は気楽良や食楽良の運営も含め「総合的な健康支援機関」としてのさらなる取り組みが求められるのではないのでしょうか。「食育」「運動」「世代間交流」を軸に、その成果が「健康」につながるような幼老統合事業の取り組みが将来、全国に知られるようになり、子どもから高齢者まで活力ある生活を送る施設のモデルとなってほしいです。



幼老統合事業部

岩手県予防医学協会 現況

公益財団法人
岩手県予防医学協会

組織図

Organization Chart

監事会 — 理事会 — 評議員会

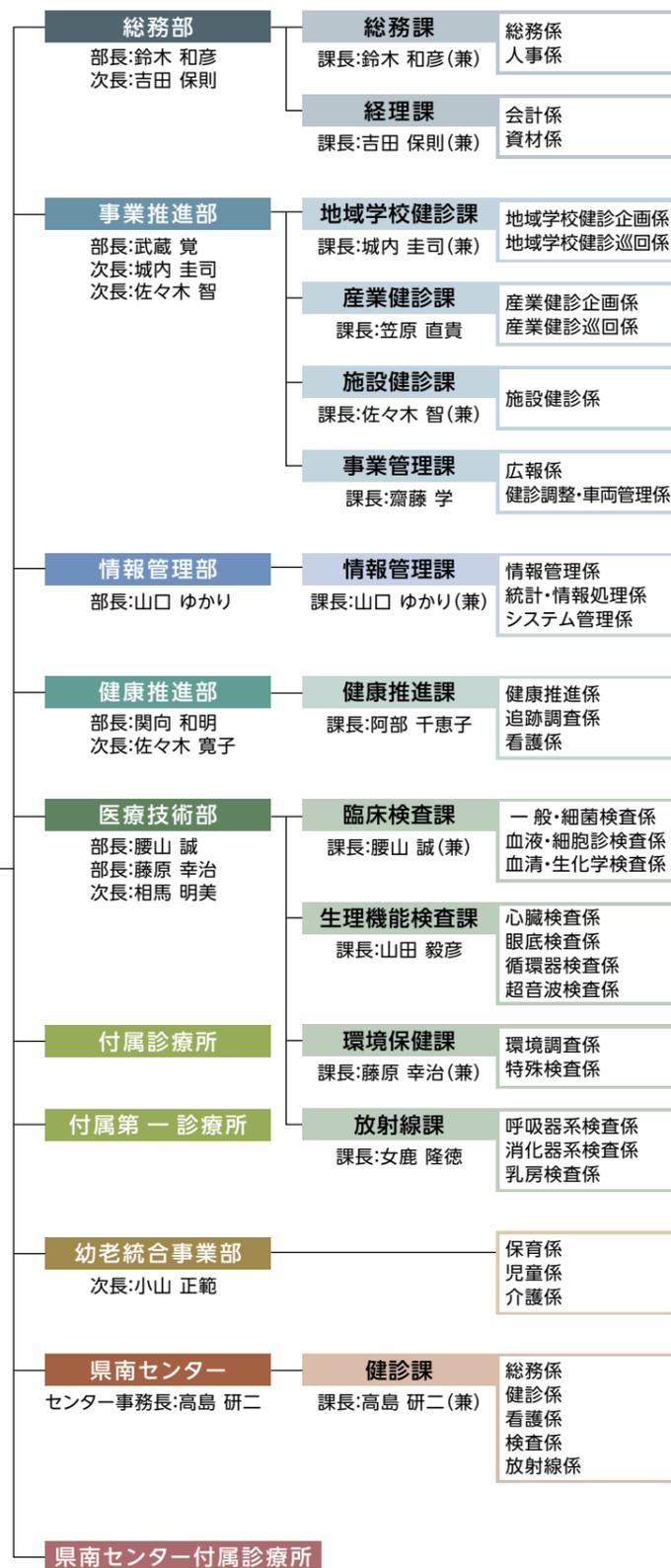
会長
小原 紀彰

専務理事 — 学術委員会
武内 健一

常務理事 — 事務局
岩城 勝典 局長:米澤 慎悦

医局

医局長・循環器科部長:田巻 健治
呼吸器内科部長:武内 健一
健診部長:遠藤 憲幸
外科部長:阿部 正
小児科・内科部長:千田 勝一
産業保健支援部長:立身 政信
婦人科総括部長:松田 壮正
巡回健診部長:近藤 宗廉
消化器内科総括部長:黒澤 照男
婦人科健診部長:鈴木 浩基
消化器内科部長:伊藤 聡
産業保健部長:茂木 隆
県南センター長・診療所長:佐藤 日出夫
婦人科健診部長:川又 靖貴



営業、企画、健診と何でもできる出先機関
オールマイティな人材になりたい

吉田 周司 Yoshida Shuji

県南センター 健診課 健診係
平成25年度入職

県南センターでの施設内健診の企画・渉外業務のほか、健診フロアに立つて責任者(班長)として検査スタッフをまとめたり、時には検査スタッフとして受診者に接しています。

企画・渉外業務では事業所担当者より、提案した検査・健診などで健康により関心を示していただいたり、「健診のおかげで早期がんを発見できた」と感謝の言葉をいただいた時に喜びや、やりがいを感じます。

ゆくゆくは、人間ドックなどの様々な

業務に携わることで知識と経験を増やし、また先輩職員からも多くを学び、「吉田に相談すれば安心」と言われる存在になりたいと思っています。

これからの時代は健康診断にもAIが積極的に導入され、健診の効率化や遠隔での健診など、考えもつかないことができるのではと期待が膨らみます。また、県南センターの新築計画が持ち上がってくると思っています。これからも協会の事業に貢献し、皆さまの健康のために尽力していきます。



県南センター

岩手県予防医学協会 現況

岩手県予防医学協会 現況



情報管理部 情報管理課



事業推進部 地域学校健診課



総務部 総務課・経理課



健康推進部 健康推進課 看護係



事業推進部 産業健診課



健康推進部 健康推進課 食楽良



健康推進部 健康推進課 健康推進係・追跡調査係



事業推進部 事業管理課



事業推進部 施設健診課

岩手県予防医学協会 現況

岩手県予防医学協会 現況



幼老統合事業部



医療技術部 環境保健課



医療技術部 臨床検査課



医療技術部 生理機能検査課



県南センター 健診課



医療技術部 放射線課



「あおぎり会」は協会職員の親睦団体として
昭和53年4月1日に発足し
現在まで活動を続けています。

■ 主な行事

1. あおぎり会総会
2. 新人歓迎会および入会30年・20年・10年を祝う会
3. レクリエーション(日帰り旅行、ボウリング大会)
4. あおぎり旅行
5. 年祝い会
6. 定年を祝う会

■ クラブ活動

1. 野球部(部員32人)
 - 東日本軟式野球大会盛岡地区予選参加
 - 高松宮賜杯全日本軟式野球大会盛岡地区予選参加
 - 三県健診機関親善野球大会参加
 - 練習試合年間数回実施
 - 毎月の練習
2. テニス部(部員6人)
 - 毎週土曜日に活動
3. フィッシング部(部員30人)
 - 船釣り
 - 溪流釣り
 - 岩洞湖ワカサギ釣り(ドーム船、氷上)
 - 田瀬湖ワカサギ釣り(スワンボート)
4. ボウリング部(部員10人)
 - 岩手県実業団ボウリング競技会
 - 東北実業団ボウリング競技大会
 - 東北実業団ボウリング選手権大会
 - 岩手県民体育大会ボウリング競技

その他、職員の慶弔(結婚祝・出産祝・香典・病氣見舞い・退職饗別など)や娯楽施設利用(映画鑑賞券・宿泊施設利用補助・小岩井農場入場券補助・レストラン利用補助券など)の運用を行っています。

公益財団法人 岩手県予防医学協会 福利厚生 あおぎり会

Welfare Program



5. さんさ部(部員28人)

- 部内練習会
- 盛岡さんさ踊りパレードの練習指導補助
- 各種イベントに参加

さんさ部 2019年活動

令和元年7月20日

盛岡さんさ踊りパレードイベント:14人
(うち部外4人)

令和元年8月17日

湯沢団地夏祭り:6人(うち部外3人)

令和元年9月10日

cocoa 敬老会:7人

令和元年11月3日

岩手ビッグブルズハーフタイムショー:15人
(うち部外3人)

令和2年2月1日

結婚披露宴余興:7人

6. ゴルフ部(部員30人)

- 月1回のコンペ(4~11月)